

キャンパスの桜が開花、 西宮上ヶ原キャンパスは今週末が見ごろ

西宮上ヶ原キャンパスと西宮聖和キャンパスの桜が開花。4月1日(金)・2日(土)に入学式が行われる西宮上ヶ原キャンパスは、今週末が見ごろとなる予想で、白い時計台と青空に映えるピンクの桜が関西学院の一員となる新生を歓迎する。

3月28日9時現在の西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス、神戸三田キャンパスの桜の状況は以下のとおり。

【西宮上ヶ原キャンパス】

- ・正門前(ソメイヨシノ) →→→→→ 開花
- ・学園花通り(ソメイヨシノ) →→→→ 開花
- ・日本庭園(ソメイヨシノ) →→→→→ 開花
- ・大学図書館南側(ソメイヨシノ) →→ 開花
- ・中央講堂横(枝垂れ桜) →→→→→ つぼみ

【西宮聖和キャンパス】

- ・3号館前(ソメイヨシノ) →→→→→ 5分咲き

【神戸三田キャンパス】

- ・第1厚生棟(ソメイヨシノ) →→→→→ つぼみ
- ・第1厚生棟(枝垂れ桜) →→→→→ つぼみ

関西学院大学博物館が 博物館法第29条に規定の「博物館相当施設」に指定

関西学院大学博物館は、2016年2月18日付で博物館法第29条に規定する「博物館相当施設」に指定されました。

今後も、学生の教育に資する博物館であるとともに、広く社会に開かれた社会教育施設としての活動を充実していきます。

【博物館相当施設とは】

日本の博物館は「登録博物館」「博物館相当施設」「博物館類似施設」の3つに分類されます。登録博物館の設置主体は、博物館法の定めにより限定されており、本館のように学校法人が設置する博物館は、登録博物館としての登録はできません。都道府県の教育委員会への申請により、博物館法第29条に定められた「博物館の事業に類する事業を行う施設」(博物館相当施設)の指定を受けることができます。指定のためには、学芸員の必置、年間100日以上の開館、博物館資料の整備、専用の施設と十分な面積などの条件を満たす必要があります。

ちなみに、国立の大規模博物館である東京国立博物館や京都国立博物館、国立西洋美術館も、博物館相当施設です。

よんしょうてい えんた

「四笑亭笑ん太です〜」 落語を始めて2年で学生王者に！ 松山 直樹さん(商学部3年生)



2月28日(日)、長良川国際会議場(岐阜市)で開催された学生落語の日本一を決める「第13回全日本学生落語選手権『策伝大賞』」の決勝で、最高賞の策伝大賞を受賞した。

同選手権で選んだネタは「河豚鍋」。フグの毒を心配した人々が、誰が先に食べるのかを巡る話だ。「登場人物の一人が太鼓持ちで、自分の性格と似ている。うまく演じられるんじゃないか」と4カ月間、稽古に励んだ。

決勝は約250人の出場者から予選を突破した8名が進出する。「とにかく楽しもう」と心に決め、約1500人の大観衆の前に上がった。



「おまはん」「はよ、かまんかい」など、上方落語独特のセリフを絶妙な滑舌や抑揚で発していく。目線や仕草で伝える細かい描写でも会場の心をつかんだ。徹底的にこだわったのは、鍋蓋をあける場面。着物の袖をまくりながら蓋を持ち上げ、湯気が上がる様子を目で追う。観客に熱々の鍋を連想させ、高い技術を見せた。

「大きな会場だったので、自分が360度、お客さんの笑い声で包みこまれているような感覚になった。会場と一体感があり、楽しすぎる8分だった」と好感触を得た。審査員で上方落語協会長の



桂文枝さんからも評価され、「言葉では表現できない」と喜びを爆発させた。

高座名は「四笑亭笑ん太」。中学、高校生時代は、文化祭で漫才を披露するなど、元々、お笑いに興味があった。大学では甲山落語研究会に所属し、落語漬けの日々を過ごす。

「大学生活はあと2年。本気で落語と向き合い、プロを目指せる実力をつけたい」と情熱を注ぐ。

次号 4月 4日(月)発行予定